



びーのびーのは、子育て中の親子がいつでも立ち寄れるほっとできる場所です。

びーのびーの 通信

2009年 8月号

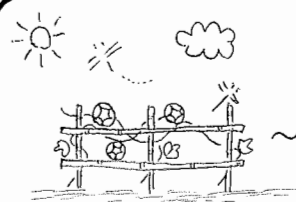
NO.110 ■ NPO 法人びーのびーの事務局 ■

〒222-0037 横浜市港北区大倉山3-57-3

TEL045-540-7422 FAX045-540-7421

URL <http://www.bi-no.org>

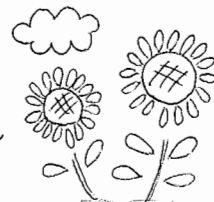
・入道雲が、もくもく・・・もくもく・・・大きくなっていくね。



1年間、NPO 法人びーのびーのとして取り組んだ研究テーマ

『協働契約のあり方を考える研究会』についてのご報告

～政策と創造と協働のための横浜会議 平成20年度受託事業～



びーのびーのが平成17年度から運営している「港北区地域子育て支援拠点とろっぴ」(以下とろっぴ)は、1区に1拠点として横浜市の次世代育成支援行動計画に掲げられ、新設された子育て支援センターです。契約上は「委託契約」という契約書を結び、行政(港北区)と委託者⇔受託者の関係で施設を円滑に運営していくための項目が約束されています。

こうした施設運営に欠かせない最低限の約束事他に、NPO 法人びーのびーのとして長らくおやこの広場びーのびーのの居場所づくりで大事にしてきた視点や自分たちの地域に見合う子育てニーズに迅速に対応できることなどを契約の中に保障しておいて欲しいと強く思いました。そのことをとろっぴの開設時に「協働協定書」や行政(甲)と法人(乙)の対等性を担保しつつ、お互いの力を具体的に出し合うことを確認することのできる「役割分担表」というものを提案し、行政と協議の上、契約行為が成立しました。今では他区の子育て支援拠点全てにこの方式が取られています。

ただ、協働協定書についてはお互いの対等性を理念的に約束するしかないもので、結局は「委託契約書」にのっとり、またその「委託契約書」は「委託約款」や「横浜市契約規則」という名の膨大かつ詳細な契約ルールを元に作られており、様々な公的サービスにおける事業手法として近年注目されている『協働』という概念は、どんなに強調しても法的に約束されたものは何もないという不確かな実態です。びーのびーのはもともとが子育て真っ最中の親達が様々な地域の人や資源と連携しながら市民発意で創り上げてきた経緯があります。この自発性は本来なら自分たちに必要なものは自分たちで継続していく、という公的サービスを創り上げる原動力になるはずですが。

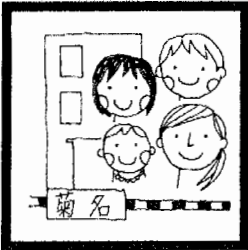
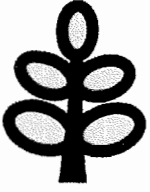
協働事業はそういう意味では市民側にとっても運営の自覚や責任、公開する義務などが問われ、運営者側にもより厳しいものが求められますが、新しい仕組みを創っていくために、福祉的な拠点、施設運営には欠かせない視点です。現状の『理念的協働から実質的協働への転換』の大事さを再認識し、契約書に焦点を定め、契約上の文言と実際の運営との整合性がもてないことに課題意識を持ち研究したいというのが今回の最大のテーマでした。運用上の法的解釈や雛型づくり、また契約を担保するための受託法人選考時期から評価時期までのトータルな協働契約行為について1つの提案を出してみました。

研究会自体はびーのびーのをはじめ、地域子育て支援拠点運営代表者や横浜市域の子育て支援分野におけるネットワーク、よこはま1万人子育てフォーラムのメンバー、こども青少年局、横浜会議主管局でもある都市経営局、市民活力推進局の3局の協力体制を得ながら進めて来ました。協働条例などを掲げている他市町村や全国的な調査を実施していた中間支援組織、横浜市内で既に実践している協働事業と定義されている運営代表者や行政担当者へのヒヤリング、自治法、行政法の専門家などとの勉強会などを重ねてきました。

2月には中間報告会を実施し、関係各所からの高い関心を実感しながら、70頁もの報告書を完成させた後、7月4日に無事1年間の研究結果を報告することが出来ました。

今後は概要(普及)版の作成をしつつ、10月15日(木)18時～最終の報告フォーラムを市内で開催します(次月びーのびーの通信およびHP等をご参照下さい)。その際には1年間の報告書も実費頒布する予定です。多様な主体である市民の参画を求めながら、この研究結果を皆さんと共有できる場を沢山創っていきたくと思っています。

おやこの広場
びーのびーの



ひろばの風景



朝からどんより雨が降ったりやんだり、予想がつかない天気が続く中、「雨だから外で遊べないし、思い切って来ちゃいました！」と、ひろばに来てくれる親子がいてうれしい限りです。子どもは雨の日だって関係なくレインコートを着て、外！外！外！雨の中のシャボン玉や、水溜りを見つけてバシャバシャ歩き、最後はその中で泳ぐ（笑）。雨だって大いに味方につける子どもたちは楽しそう。今しか出来ないもんね。それを見守るママたちにも拍手！



ひろば利用案内

<入会金>・・・1000円
1ヶ月フリーパス・・・2100円/月
1回利用料・・・300円/回
マタニティ利用料・・・200円/回
ビジター利用料・・・500円/回

※入会金は、1家族初回のみ。
のちにぎょうだいが入会の場合は不要。

- ◆0～3歳の子どもが対象です。
- ◆ひろば見学は、初回のみ無料です。
- ◆きょうだいで同時にひろば利用される場合、2人目以降半額。（6ヶ月未満は無料）ただし、下のお子さんは上のお子さんのひろば卒業と同時に正規料金となります。
- ◆ひろば利用料は、びーのびーの運営、維持費として活用させていただいています。

【開館日】

月・火・木・金 9:30～16:00
水曜日 13:00～17:00

【休館日】

土曜日・日曜日・祝日
年末年始・特別休館日

春から新しいボランティアさんが3人加わりました。ひろばで似顔絵の顔を見かけたら気軽に声をかけてください。よろしくお願いします。

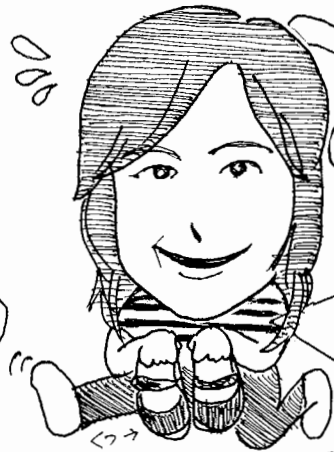


佐々木です。1才7か月になる娘と毎日のようにびーのびーのにきて、みんなでお昼ご飯を食べたり、ビニールプールで水遊びをしたり、楽しく過ごしています。

なま 舘です。5才の元気すぎる息子がいる、手芸、工芸好きの母です。元気な子ども達と遊んだり、ママさん達とざっくばらんにお話しできたら嬉しいです。



栗原です。3歳になる娘は水遊びが大好きなので、いつも外にいます。



親子ボラと会員ママのつぶやき

2才7か月になる息子は、ガラガラうがいができます。小さなので、ころころとかわいい音をたて、シンクに上手にペッ。記憶の糸をたどってみると、自分が子どもの頃、ブクブクうがいはできてもガラガラうがいは結構ハードルが高かったような・・・教えた訳でもないのに、いつの間にかできるようになっていた息子。帰宅後の手洗いの時、私がしているのを観察していたのでしょうか。まさに、「門前の小僧習わぬ経を読む」、「子は親の鏡」改めて気付かされた出来事でした。ちなみに息子、ブクブクうがいはまだできません・・・

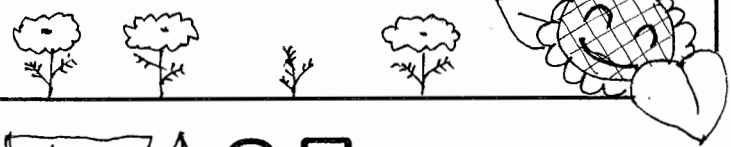


会員 まさあきくん（2才7か月）のママ

グループ保育の風景

夏の訪れとともに、ゆーのびーのにも学生ボランティアさんがやってきました。毎年のことですが、子どもたちは学生さんが大好き。スタッフにうちとけるのに時間のかかった子どもでさえ、学生さんとはたちまち仲良くなってしまうから不思議です。

「紙芝居よんで」「いっしょに電車ごっこして」「手をつないで」「抱っこして」子どもたちは、次から次に学生さんにリクエストをします。学生さんもうれしそうに答えてくれています。子どものリクエストに快く応えてくれる学生さんは、子どもにとって「ありのままの自分」を認めてくれる大人なのでしょう。すぐにうちとけられるのは、それを感じているせいなのかもしれません。その様子をほほえましく見ながら、改めて、昔は子どもの周りに溢れるようにあった「信頼できる大人との関わり」が今は「意識しなければできないこと」のひとつになったなあと思うのです。(D)



■19日(水) 15:30～ 夕涼み会
毎年恒例の夕涼み会。すいか割りもやります！びーのびーのを卒業した子も参加可。
要予約 20組限定 参加費：300円
※1品持ち寄り+好みの飲み物をお持ちください。

■21日(金) 10:15～ 赤ちゃん体操
赤ちゃんとうったりと優しく触れ合いながらの体操です。体操の後はお母さんのためのリラックスタイムもありますよ。
要予約：10組 参加費：300円

■24日(月) 10:30～12:00 子育て相談日
臨床心理士の伊志嶺美津子先生が子育ての中で出会う不安や心配な事を一緒に考えて下さいます。

- ☆水曜日の開館時間は13時から17時です。19日は15時より開館。
- ☆隔週木曜日午前中は助産師がいます。8月は20、27日を予定しています。お気軽にご相談を。都合により不在の場合もあります。ご了承ください。
- ☆一般参加の場合、ひろば利用料として500円別途いただきます。

8月 Calendar

月	火	水	木	金
3	4	5 13時開館	6	7
10	11	12 夏季特別休館	13	14
17 夏季特別休館	18	19 15時開館 夕涼み会 15:30～	20	21 赤ちゃん体操 10:15～
24 子育て相談日 10:30～ 12:00	25	26 13時開館	27	28
31				

※ 12日～18日は夏季特別休館日です。
※ 19日(水)は15時に開館します。



びーのびーのでは夏のお天気のいい日にはプール遊びができます。家でまったりベランダプールもいけれど、みんなでする水遊びは楽しいよ！

★ 希望者がいれば随時。(行事があるときはお休みの場合があります。)
【期間】～9月上旬ぐらいまで
【お願い】プール遊びは水着かパンツでお願いします。(水遊び用オムツ可)
ピンなど危険のないように。体を拭くタオル持参。
とびひ、結膜炎、水いぼなどは治ってからネ！

『こぐまちゃんのみずあそび』
おすすめえほん わかやまけん 作 こぐま社

「水がたっぷり入ったじょうろを持ち歩くこぐまちゃん。花にあげたり、池の金魚さんに向かってそそいだり、ありさんにかけてり・・・。そしてお友達のしろくまちゃんとホースで水のかけあい。
子どもにとって水遊びは胸ときめくもの。私もこんなふうには遊んだっけ。水とたわむれる楽しさがいっぱいいつまっている、夏にぴったりの絵本です。」(よ)

びーのびーのの活動って？

NPO法人びーのびーのは、地域で共に育ち合う子育て環境を目指して、港北区内に拠点を置き事業を展開しています。また、各拠点につどう人とのつながりを大切にしつつ、さまざまな連携を図りながら地域への発信をしています。

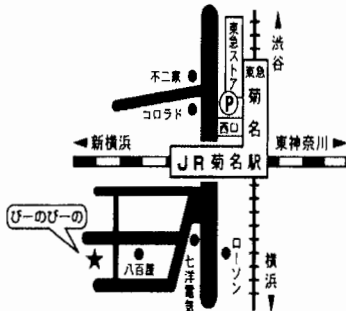
拠点

親と子のつどいの広場事業 おやこの広場 びーのびーの

◆横浜市社会福祉協議会「親と子のつどいの広場事業」

2000年4月開設。商店街の空き店舗を借り上げて、子育て当事者で立ち上げた子育てひろば。利用者である会員やスタッフ、ボランティア、地域の人たちと共に、子どもの遊びや育ちを見守り、出会えるひろば。子どもも大人も居心地の良い居場所づくりを目指して取り組む。

<http://www.bi-no.org/>



東急東横線・JR横浜線菊名駅西口より徒歩2分

〒222-0021
横浜市港北区篠原北 1-2-18
TEL 045-439-7447
FAX 045-439-7448

◆開館時間◆
月・火・木・金 9:30～16:00
水曜日 13:00～17:00
◆休館日◆
土曜日・日曜日・祝日・
年末年始・特別休館日

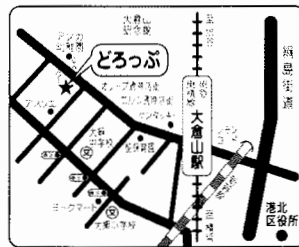
港北区地域子育て支援拠点 どろっぷ

◆港北区地域子育て支援拠点委託事業

「学生によるわくわく子育てサポーター」
「港北区子育て応援メールマガジン ココめ～る」

2006年3月開設。0歳～6歳までが登録。横浜市次世代育成支援行動計画「かがやけ横浜子どもプラン」における1区に1つの支援拠点モデル事業として開設。5つの要綱(親子の居場所事業/相談事業/子育て情報の収集発信事業/ネットワーク事業/人材育成事業)を総合的に取り組むための拠点として運営。

<http://www.kohoku-drop.com/>



東急東横線大倉山駅徒歩10分
または市バス41系統川向町行き「観音前」下車

〒222-0037
横浜市港北区大倉山 3-57-3
TEL 045-540-7420
FAX 045-540-7421
◆開館時間◆
火～土曜日 9:30～16:00
◆休館日◆
日曜日・月曜日・祝日・
年末年始・特別休館日
◆登録料・利用料◆ 無料

事業

◆預かり保育事業「ゆーのびーの」

今年度は2～3歳児のグループでの預かりを、おやこの広場びーのびーのの水曜日の午前5時に実施。在宅家庭支援に必要とされる幼児期の預かりへのニーズに対応する。預かりを通じて親との信頼関係を築き、地域からの理解を得ながら活動。

◆子育て関連情報の編集・制作・販売

- ・広報紙の発行(毎月)
法人全体の事業や地域の子育て関連情報を紹介。
- ・幼稚園・保育園ガイドの発行(年1回)
港北区および周辺地域の園情報を掲載

◆菊名 WARA・びー実行委員会

小学生を中心に親子でまちの歴史を学び、交流を深めることを目指した地域交流事業。

◆ウェブサイトの編集・制作・運営

・港北区子育て応援マップ【ココマップ】

〈港北区社会福祉協議会受託事業〉

2004年9月、子育て情報サイトを開設。子育て当事者らによる編集委員会を毎月開催。特集ページの作成、子育て関連イベント情報の提供など充実したサイトを運営。

<http://www.kouhokushakyo.or.jp/>

◆わくわく子育てサポーター事業

〈横浜市市民局協働事業推進本部協働事業提案制度モデル事業〉

学生ボランティアが子育て家庭を訪問し、乳幼児家庭のお手伝いに参加する活動を中心に、活動前の研修や地域学校や保護者との連携の体制づくり、学生ボランティアの活動支援作りのための場づくりを支援。

法人事務局

●NPO法人

びーのびーの事務局

正会員・準会員の管理をはじめ、対外的な窓口として機能を果たす。

関連法人事務局

●NPO 法人子育てひろば

全国連絡協議会事務局

全国の子育てひろばの会員組織を研修事業・調査研究事業などでサポート。

編集後記

子どもの頃・・・初めは長いと思っていた夏休み。夏の途中でかけあしになる。たくさん！たくさん！遊んで！いっぱい夏の思い出つかまえてね。一人ひとりにとってかけがえない素敵な夏でありますように♪(し)

びーのびーの通信

No.110

発行元 NPO法人びーのびーの 発行人 奥山千鶴子
 <編集> 可見あずさ 工藤百代 白瀬宏子 今井幸子
 高橋直子 原美紀 牧谷泰子 山田弘美
 <イラスト> 山田弘美 横山朋子

ZUG UM ZUG

(ツーク・ウム・ツーク)

ZUG UM ZUG
hair design

伝言板

広告を募集しています！！

びーのびーの通信は毎月、区内外の約200箇所
に約3,000部を配布・送付しています。

- ・ お店の方からの情報を「伝言板」に掲載します。
- ・ 子育てにやさしい素敵なお店、みんなに紹介したい子育て情報など、皆さんからの情報も募集しています。ご一報お待ちしております。！！

広告料金:1 枠 5,250 円(税込み)

問合せ先:NPO法人びーのびーの

TEL:045-540-7422(担当:奥山・高橋)



〒222-0021 横浜市港北区篠原北 1-1-9 菊名ビル 1F

tel&fax 045-530-8331

*受付時間 10:00～20:00 *定休日 木曜日・第三水曜日